

## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 大

上場会社名 フジプレミアム株式会社

コード番号 4237 URL <http://www.fujipream.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 松本倫長

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 IR・広報部長

(氏名) 小河昌之

TEL 079-266-6161

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	7,146	△56.6	670	△35.4	622	△39.9	△267	—
23年3月期第2四半期	16,477	47.6	1,037	55.5	1,035	54.7	572	△9.0

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △260百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 559百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△9.35	—
23年3月期第2四半期	20.04	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	16,455	6,949	41.8
23年3月期	18,514	7,381	39.5

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 6,871百万円 23年3月期 7,306百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期の配当予想は未定であります。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

平成24年3月期の業績予想につきましては、現時点では業績の見通しを立てることが困難となっているため未定とし、記載しておりません。詳細につきましては、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	29,786,400 株	23年3月期	29,786,400 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,211,412 株	23年3月期	1,211,412 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	28,574,988 株	23年3月期2Q	28,575,100 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した業績の見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 【添付資料】

### 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興に向けた回復が見られるものの、原発事故に伴う電力供給の問題、欧米における金融不安の拡大と急激な円高の進行による企業収益悪化の懸念もあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループの主力事業であるフラットパネルディスプレイ部門におきましては、エコポイントの駆け込み需要の反動による急激な落込みに加え、円高による輸出環境の悪化により、厳しい結果となりました。また、クリーン・エコエネルギー部門におきましては、国内向け住宅用及び産業用の太陽光発電システムの販売が堅調に推移したものの、海外メーカーによる価格攻勢の影響から前年同四半期を割り込む結果となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高7,146百万円（前年同四半期比56.6%減）となり、損益に関しましては、このような市場の変化を見通し、コスト削減に取り組んだ結果、営業利益670百万円（同35.4%減）、経常利益622百万円（同39.9%減）となりました。また、第1四半期連結会計期間において、役員退職慰労金960百万円を特別損失として計上したことにより、四半期純損失267百万円（前年同四半期は572百万円の純利益）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

#### フラットパネルディスプレイ部門

当部門につきましては、国内市場においては、地上デジタル放送への完全移行後の想定を上回る落込みがありました。また、海外市場においては、新興国需要の伸びに鈍化がみられたことに加え、急激な円高の影響を受けたパネルメーカーの過剰在庫適正化のための生産調整により、好調であった前年同四半期の生産数量を大幅に下回りました。このような状況の中、市場から求められる要素技術である当社の超精密貼合技術を活かし、今後、成長が期待できる大型のタッチパネルやタブレットPC及び新方式の3D液晶テレビに必要な超精密貼合等に取り組んでおります。また、このような市場の変化を見通し、生産拠点の集約や生産体制の最適化等に即座に対応し、更に、全社に亘る徹底した経費の削減等、一層の経営体質の強化に取り組ましました。

この結果、売上高5,876百万円（前年同四半期比60.8%減）、営業利益699百万円（同26.7%減）となりました。

#### クリーン・エコエネルギー部門

太陽電池の国内市場は、住宅用太陽光発電導入支援対策費補助金制度や電力会社による余剰電力の買取り制度に加え、原発事故に伴う電力供給の制約もあり、省エネ意識の高まりを背景に好調に拡大いたしました。また、再生可能エネルギー特別措置法の成立により、電力の全量買取り制度の導入が決定される等、更なる市場の拡大が期待されるものの、太陽電池の低価格化を牽引する海外メーカーの攻勢により、市場環境は厳しい状況になることが予想されます。当部門におきましては、国内向け住宅用及び産業用の太陽光発電システムの販売が堅調に推移したものの、価格下落の影響から前年同四半期を割り込む結果となりました。更なる拡販のため、販売体制の強化に向けた営業拠点の拡充に取り組んでおります。また、太陽電池の旺盛な需要に対応するため、自社構築による新型生産ラインで量産されるコスト競争力のある太陽電池モジュールを市場に投入することで、事業の拡大に努めてまいります。更に、軽量化を追求した高効率で高品質の新型太陽電池モジュールの開発に取り組み、太陽電池の商品ラインナップを増やしてまいります。

この結果、売上高1,270百万円（前年同四半期比15.0%減）、営業損失47百万円（前年同四半期は62百万円の営業利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が16,455百万円となり、前期末比2,058百万円の減少となりました。主なマイナス要因は、現金及び預金の減少1,088百万円、受取手形及び売掛金の減少863百万円、原材料及び貯蔵品の減少99百万円等であります。

負債は9,506百万円となり、前期末比1,626百万円の減少となりました。主なプラス要因は、固定負債のその他に含まれる役員退職慰労金を含む長期未払金の増加876百万円等であり、主なマイナス要因は、支払手形及び買掛金の減少975百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少313百万円、未払法人税等の減少217百万円、長期借入金の減少712百万円等であります。

また、株主資本は利益剰余金の減少438百万円により6,880百万円となり、純資産は6,949百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、薄型テレビの事業環境が世界的に悪化している中、現時点では合理的な業績予想の算定ができないため、未定としております。業績予想の開示が可能となった時点ですみやかに開示いたします。

当社グループといたしましては、最適な生産体制の構築等、全社を挙げて更なるコストダウンに努め、加えて、市場からの要求を確実に捉え、新規需要先を開拓することで、業績向上を目指してまいります。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,341,532	5,253,523
受取手形及び売掛金	3,253,824	2,390,550
商品及び製品	355,353	432,313
仕掛品	278,078	216,952
原材料及び貯蔵品	559,114	459,875
その他	178,311	52,474
貸倒引当金	△20,924	△4,191
流動資産合計	10,945,289	8,801,499
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,807,809	2,715,423
土地	2,226,490	2,226,490
その他（純額）	2,204,970	2,087,391
有形固定資産合計	7,239,269	7,029,305
無形固定資産		
その他	31,612	28,503
無形固定資産合計	31,612	28,503
投資その他の資産		
その他	302,661	600,609
貸倒引当金	△4,662	△4,662
投資その他の資産合計	297,998	595,946
固定資産合計	7,568,880	7,653,755
資産合計	18,514,170	16,455,255

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,187,290	1,212,270
短期借入金	950,000	950,000
1年内返済予定の長期借入金	1,739,436	1,426,306
未払法人税等	432,690	214,707
賞与引当金	20,990	21,519
その他	700,338	646,464
流動負債合計	6,030,745	4,471,267
固定負債		
長期借入金	4,539,385	3,826,547
退職給付引当金	10,043	4,885
その他	552,620	1,203,350
固定負債合計	5,102,049	5,034,783
負債合計	11,132,794	9,506,050
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,007	2,000,007
資本剰余金	2,440,803	2,440,803
利益剰余金	3,742,421	3,303,852
自己株式	△863,878	△863,878
株主資本合計	7,319,354	6,880,785
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,614	10,114
為替換算調整勘定	△25,610	△19,346
その他の包括利益累計額合計	△12,996	△9,232
少数株主持分	75,017	77,651
純資産合計	7,381,375	6,949,204
負債純資産合計	18,514,170	16,455,255

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	16,477,620	7,146,122
売上原価	14,864,854	5,858,541
売上総利益	1,612,765	1,287,581
販売費及び一般管理費	575,016	616,739
営業利益	1,037,748	670,842
営業外収益		
受取利息	3,131	2,758
助成金収入	18,258	—
保険解約返戻金	19,655	7
固定資産賃貸料	12,417	1,200
その他	7,143	2,578
営業外収益合計	60,605	6,544
営業外費用		
支払利息	30,419	48,928
為替差損	—	4,357
持分変動損失	4,621	—
貸倒損失	20,809	—
その他	6,780	1,537
営業外費用合計	62,631	54,823
経常利益	1,035,722	622,563
特別利益		
固定資産売却益	206	—
投資有価証券売却益	—	1,100
特別利益合計	206	1,100
特別損失		
固定資産売却損	3,508	—
固定資産除却損	115,867	68
役員退職慰労金	—	960,000
特別損失合計	119,375	960,068
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	916,553	△336,405
法人税、住民税及び事業税	341,867	228,527
法人税等調整額	△737	△300,448
法人税等合計	341,129	△71,920
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	575,423	△264,484
少数株主利益	2,693	2,633
四半期純利益又は四半期純損失(△)	572,730	△267,118



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	575,423	△264,484
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,663	△2,500
為替換算調整勘定	△14,341	6,264
その他の包括利益合計	△16,004	3,764
四半期包括利益	559,418	△260,720
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	556,725	△263,354
少数株主に係る四半期包括利益	2,693	2,633

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。